

令和7年度 みやぎの共生社会を目指す生涯学習推進事業  
第1回コンソーシアム連携協議会 会議録

令和7年7月18日(金) 午後1時45分から午後4時15分まで  
防災庁舎 防51号室

I 地区別協議①「各地区における本年度の事業(公民館モデル等)について」

(1) 各地区の主な取組内容

地区	主な取組内容
中部	【高鍋町】 陶芸教室、多肉植物の寄せ植え、包丁を使わない料理教室 【宮崎公立大学】 デフカフェ(手話講座)
南部	【都城市】 防災体験教室(土曜日実施)。避難所体験や障がい理解を深める内容。
北部	【日向市】 楽器演奏、クリスマス小物作り、ズンバ、障がい者スポーツ(ボッチャ等)、 アレンジメントフラワー教室など。 【延岡市】 ハンカチの型染め、シンボルフラッグづくり、メイク講座、埋蔵文化財(土器 組み立て等)、調理体験(お好み焼きや韓国風チヂミ)など。

(2) 取組に関する課題と工夫

○ 周知の方法について

- ・ 学校や事業所へのチラシ配布だけでは周知が不十分である。SNS、LINE、学校の情報発信アプリ(連絡網)を活用する。
- ・ 市町村の障がい福祉課や、相談支援センター、大学、民間企業(イオン、スタバ等)がもつネットワークを活用し、広報を周知する。

○ 開催日時について

- ・ 土曜日は学校や仕事の疲れがあるため、「日曜日の午前中」がベストではないか。月曜日への生活リズムを作る「助走」として好意的に捉えられる。

○ 参加を促す方法について

- ・ 最初から大人数を集めようとせず、10~20名程度の小規模から始め、リピーターや居場所作りを大切にすると良いのではないか。
- ・ チラシに「見学だけでもOK」と一言添えるだけで、参加を迷う保護者の安心感につながる。また、昨年の活動写真や感想を載せ、内容をイメージしやすくする。

**2 地区別協議②「ひなたのつどい」コンファレンスの体験ブースについて**※ 案の洗い出し

○ 最新技術体験

遠隔操作ロボット(オリヒメ)、電動車椅子、文字化アプリの体験など

○ スポーツに係る体験

ポッチャ(デジタルポッチャ含む)、フライングディスク(アキュラシー)、ドローンサッカー、スノーシュー体験など

○ 理解啓発に係る体験

点字体験、視覚・学習障がい見え方体験、聴覚障がい体験(身体で音を感じる)、読書バリアフリーの展示、デフリンピックのPR 視覚支援学校の共同製作の作品展示、盲導犬ふれ合い体験、デフカフェ(手話体験)、シニアカーや福祉自動車展示など

○ 公民館講座体験

アレンジメントフラワー、アイロンビーズなど